

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	生活文化部
	17056	かめやま文化年事業	課名	文化スポーツ課 文化共生G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財	会計
	基本施策	06:文化芸術の振興と文化交流の促進	務	款
	施策の方向	02:文化交流の促進	科	項
戦略プロジェクト	04:「ジモトノココロ」プロジェクト	目	目	07:文化振興費
事業予定期間	H 25 ~ H - 年度		主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	<p>亀山市文化振興ビジョンに基づき、地域の文化力の向上や地域間交流の活性化、新たな文化の創造を目的として、3年に1度、さまざまな文化に関する取り組みを集中して開催する「かめやま文化年」を実施する。</p> <p>【かめやま文化年2017】平成29年4月1日から平成30年3月31日(1年間)</p>
概要	<p>「かめやま文化年2017」では、「つながる」をキーワードとして、交流・継承・人材育成の3つの視点をふまえたテーマ別(歴史、あかり、くらし、音楽、芸術)の事業を展開する。</p> <p>また、かめやま文化年プロジェクトの集大成となる「かめやま文化年2020(キーワード:「かがやく」)」の実施を見据えて、文化資源の価値や文化に関わる人の満足感の向上を目指した具体的な取り組みの検討を行う。</p>	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<p>○かめやま文化年2017企画事業の実施および関連事業への支援</p> <p>1. 交流:歴史 2. 継承:あかり、くらし 3. 人材育成:音楽、芸術</p> <p>○かめやま文化年プロジェクト推進委員会の開催</p>	<p>○かめやま文化年2017の検証</p> <p>○かめやま文化年2017記録誌の制作</p> <p>○かめやま文化年2020の骨子・テーマの検討</p> <p>○かめやま文化年プロジェクト推進委員会の開催</p>	<p>○かめやま文化年2020企画事業の検討</p> <p>○かめやま文化年2020関連事業の検討</p> <p>○かめやま文化年2020実施計画の策定</p> <p>○かめやま文化年プロジェクト推進委員会の開催</p>	
	年度実績	<p>○かめやま文化年2017企画事業の実施および関連事業への支援</p> <p>1. 歴史:企画6事業、関連6事業 2. あかり:企画2事業、関連1事業 くらし:企画4事業、関連1事業 3. 音楽:企画5事業、関連10事業 芸術:企画3事業、関連2事業</p> <p>○かめやま文化年プロジェクト推進委員会、文化年2017実行委員会を開催</p>			
事業費	計画額	事業費	19,000千円	1,200千円	1,800千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	1,000千円		
	予算額	事業費	19,810千円	1,000千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	4,000千円		
決算額	事業費 ①	17,717千円			
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	3,000千円			
人件費	一般職員	23,037千円			
	所要人員	3.00			
	臨時職員等	0千円			
	総人件費 ②	23,037千円			
総コスト(①+②)		40,754千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度	
④ 指標	①	名称	かめやま文化年2017企画事業の参加者数(年間延べ人数)	計画値	25,000		
			かめやま文化年2014のメイン事業・リーディング事業の延べ参加者数(約19,000名)以上を目標値とする。	実績値	26,810		
				単位	人		
	②	名称	かめやま文化年2017への参画団体数(年間延べ団体数)	計画値	150		
			かめやま文化年2014の延べ参画団体数(120団体)以上を目標値とする。	実績値	103		
				単位	団体		
	③	名称	かめやま文化年プロジェクト推進委員会の会議開催回数	計画値	3	5	7
			事業計画の検討、事業実績の検証	実績値	3		
				単位	回	回	回

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 かめやま文化年2017の実施計画を策定したが、各事業の詳細を決定するには至らなかった。前回の文化年よりもテーマ数が増え、分野が多岐に渡るため、市内の各種団体や庁内の関係部署と連携を図る必要がある。また、各種広報媒体を活用して広く市内外へPRする。文化大使の活動についても、文化年の事業の中で接点を持てるように検討する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 かめやま文化年2017の各事業を早急に決定し、事業実施のため、関係団体や各部署と調整を行った。広報媒体やイメージキャラクター等を活用して、広く市内外へPRを行った。また、文化大使の活動についても、かめやま文化年2017の各事業の中で接点を持てるように検討を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 「つながる」をキーワードとして、交流・継承・人材育成の3つの視点で5つのテーマを設定し、さまざまな事業を行った。かめやま文化年2017では、かめやま文化年2017実行委員会などが主体となって行う「企画事業」と民間団体や市関係の実行委員会などが主体となって行う「関連事業」を行い、各事業間の連携を図りながら、相乗効果を高めることを目指した。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 かめやま文化年2017の企画事業への参加者は目標値を超え、たいへん賑わった。岡山県高梁市との文化交流や亀山市のろうそくやお茶を用いたイベント、たくさんの若手芸術家が参画した亀山トリエンナーレなど、「つながる」を常に意識して各事業に取り組む中で、異なる文化や地域と地域のつながりなど、新たなつながりを生むことができた。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 かめやま文化年プロジェクトの集大成となるかめやま文化年2020に向けて、今回のかめやま文化年2017で生まれたつながりを継続させ、各文化団体や市民ネットワーク等のつながりを深めるとともに、より多くの市民が文化に関われる機会を増やしていく必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 かめやま文化年2017を検証し、次回のプロジェクトかめやま文化年2020の検討を行う。また、3年に1度となる文化年プロジェクトまでも、各団体等のつながりを深めるため、文化交流等の機会を継続して設ける。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 かめやま文化年2020において、より多くの市民が文化活動に関わることで、地域の文化力の向上につながる。また各種行事やイベント等でつながることで、地域間の交流が活発になる。	
対応時期		平成31年度	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 文化共生グループリーダー 米津 ひろみ
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小林 恵太